

石九六日命第五四號

石第三五九六部隊日々命令

十二月十二日一六〇腰

一 第一中隊 陸軍一等兵 余語一久

第四中隊 同 前田睦男

第五中隊 同 安垣十俊

右者暗號手トシテ當分間通信班勤務ヲ命ス 飼田昇

二 右者機秘密書類交付ニ為本十二日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ中頭郡北谷國民學校ニ出張ヲ命ス

三 明十三日部隊長離任式施行ニ方リ左ノ通り心得ヲベシ

一 各隊(配屬隊ヲ含ム)ハ最小限ノ舍内監視ヲ殘置スルモノトス

二 編成ハニテ小隊トシ銃砲中隊ハ小銃編成トス

三 十時三十分迄ニ玉城國民學校々々ニ集合スルモノトス

四 集合隊形ハ南面ノ中隊ノ縱隊ノ大隊横隊トシ大隊本部通信作業一、二、三、四、五、附、初年兵教育隊、TA、SAノ順序トス

五 各隊ノ間隔ハ六歩トス

六 服裝ハ儀式ニ於テ軍裝ニシテ背囊ヲ除キ略綬佩用トス



石九六日命第一五六號

石第三五九六部隊日々命令

二月十四日一六〇

陸軍少尉

淺尾金藏

右者師團會報參列、爲本十四日即日歸隊、豫定ヲ以テ師團司令部ニ出張ヲ命ス

陸軍少尉

木本友作

右者西支隊連絡ノ爲本十四日即日歸隊、豫定ヲ以テ石第四八一部隊ニ出張ヲ命ス

陸軍曹長

小林夏平

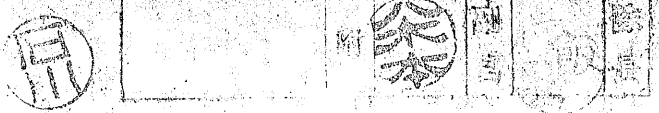
右者軍事機秘密書類返納並受領ノ爲本十四日即日歸隊、豫定ヲ以テ石第四二八部隊ニ出張ヲ命ス

陸軍醫務曹長

江崎熊雄

右者西支隊連絡ノ爲本十四日即日歸隊、豫定ヲ以テ石第六八二部隊醫務部ニ出張ヲ命ス

下士官	陸	醫
小	中	西





石九六日命第一五七號

石第三五九六部隊日々命令

十二月十五日一六
富 名 腰

一 部隊長 飯塚少佐殿へ 明十五日着任セラル
依而左、通り心得マシ

ノ 將校 (配屬隊將校含ム) 本部 通信 作業 直轄 小隊ハ一
口口 迄ニ 王城 小學校 門前ニ 出迎、爲 整列ヲ 完了スルモトス
出迎ヘタル 後 將校ハ 北側 校舎ニ 於テ 部隊長ニ 對シ 挨拶ヲ
行フ

二 挨拶 終了 後 東側 校舎ニ 於テ 訓示ヲ 行フ
三 服装ハ 儀式 場合、軍装トシ 略綬 佩用トス
故 末 木 曹長 故 日 比 野 上 等 兵、遺 骨ヲ 衣 團 迄 護 送ノ
爲 左 記、通リ 兵カヲ 明 十五 日 口口 迄 本部ニ 差 出シ 副官
ノ 指 示ヲ 受ケ シ ムベシ

左 記

第一中隊

兵 三

第四中隊

下士官 一 兵 二

服装ハ 儀式 場合、軍装トシ 背 囊ヲ 除キ 略綬 佩用トス
但シ 遺 骨ヲ 捧 持 スルモハ 徒 手 帶 劍 卷 脚 絆トス

三

機關銃中隊 陸軍上等兵

上坂 朝日 利豐

同 陸軍一等兵

高田 繁太郎

右者入院患者輸送為本十四日ヨリ一日泊三日、豫定ヲ以テ不
第五三五部隊ニ出張ヲ命ス (以上十五日ヨリ一日泊三日、豫定ヲ以テ不)

四

陸軍兵長

小野 田藤

右者軍事機秘書類送納並ニ受領、為本十五日即日歸
隊、豫定ヲ以テ旅團司令部ニ出張ヲ命ス

下	士	官
本	中	西

石九六日命第一五八號

石第三五九六部隊日々命令

十二月十七日一六〇〇 富名 腰

副官本部人事功績恩賞係及各隊(配屬隊ヲ除ク)内務掛功績
掛、明十六日石兵團ニ於テ實施スル集合教育ニ参加ヲ命ス

依テ参加者ハ〇九〇〇迄ニ本部ニ集合シ石川准尉、指揮ヲ以テ
出發ス

服裝ハ徒手帶劍、卷脚絆、シ晝食、並ニ十五日會報時配布、
留中業務規定、按萃ヲ携行スルモノトス (十五日ヨリ一日泊三日、豫定ヲ以テ不)

右者入院患者護送、為本十六日即日歸隊、豫定ヲ以テ不
陸軍病院ニ出張ヲ命ス

第三中隊 陸軍一等兵 坂口 憲美

右者引續、通信班勤務ヲ命ス 陸軍技術軍曹 岡田 晴男

右者返納兵器整理、為本十七日ヨリ一日泊三日、豫定ヲ以テ不
教師團兵器部ニ出張ヲ命ス

五 右春衛生材料受領、爲本十七日即日歸隊、豫定ヲ以テ石第一
 六 本 陸軍大尉 三 輪 信 一
 七 教育主任者會同参列、爲本十七日即日歸隊、豫定ヲ以テ
 八 石兵團司令部ニ出張ヲ命ス
 九 部隊長初度巡視計畫別紙、如シ
 十 明十八日十九日、兩日須川隊、山内隊ヨリ乘馬各二頭(傳令ヲ附ス)ヲ
 十一 七時三十分迄ニ本部ニ差出シ副官ノ指示ヲ受ケシムベシ
 十二 直轄小隊長ヲ命ス
 十三 松島隊ノ一ヶ小隊ヲ指揮ス
 十四 陸軍少尉 林 四 郎
 十五 小隊長カヲ石田中尉ニ申送り中隊ニ復歸ヲ命ス

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

部隊長初度巡視計畫

石第一三五九六部隊

月日	時間	行	勤	所	時間	巡視順序	摘	要	實施	西女領
八・八・〇		富名腰	發						一到着(出迎)	
八・二・〇		伊藤隊	着		50	伊藤隊	連絡有ラ		三 狀況報告	
九・二・〇		同	着		50	山内隊	連絡有ラ		三 灯務巡視	
九・二・〇		同	着		50	山内隊	伊藤隊ニ		四 休	憩

十
 松島隊ノ一ノ小隊ヲ指揮ス
 陸軍少尉 林 四郎
 小隊主力ヲ石田中尉ニ申送り中隊ニ復歸ヲ命ス



部隊長初年度演習計畫

石第三五九六部隊

考 備	日 九 十 月 二 十							日 八 十 月 二 十							月 日
	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	〇九	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	
一 三輪大尉 副官 二 スルモノトス 小松軍醫 武藤三計八 部隊長ニ隨行	富名隊 着	同天倉隊 着	江戶隊 於テ演習ニ於テ準備ノコト	江戶隊 着	外山隊 着	須川隊 着	富名隊 着	富名隊 着	教育隊 着	松島隊 着	榎本隊 着	同松田隊 着	同山内隊 着	同伊藤隊 着	富名隊 着
		50	100	50	30	50			110	50	50	50	50	50	50
		天倉隊	晝食	江戶隊	外山隊	須川隊			教育隊	松島隊	晝食	橋本隊	松田隊	山内隊	伊藤隊
		連絡者ヲ又東端ニ		連絡者ヲ南端ニ	連絡者ヲ下口方ニ	連絡者ヲ西端ニ			系教南端ニ		連絡者ヲ方三ノ路ニ	連絡者ヲ松田隊ニ	連絡者ヲ又東端ニ	連絡者ヲ伊藤隊ニ	連絡者ヲ本館ニ
				五 一報訓ニ終了スルハ下士官以上右列集ニ集合スルモノトス		四 内務巡視ハ下士官以下各担任及宿舎ノ定位ニ在ルモノトス			三 集合場所隊形等各隊長ニ於テ適宜定メラルモノトス		二 狀況報告ハ中隊現況ヲ口答ヲ以テ報告スルモノトス			一 服裝ハ徒手帶劍卷脚絆トシ略緩佩用トス	

- 一 到着(空迎)
- 二 狀況報告
- 三 内務巡視
- 四 休 憩
- 五 訓 示
- 六 下士官以上訓示
- 七 出發(見送)



石九六日命第三五九號

石第三五九六部隊日々命令

十二月十八日(六) 腰

教官 陸軍少尉

助教 陸軍曹

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

同助 陸軍兵長

右者昭和二十年年度第二年度下士官候補者教育隊編成要
負ヲ命ス
依ッテ十二月十八日十三時迄本部ニ集合シ中村少尉ノ指揮ヲ
以テ十六日迄ニ高宮城ニ至ルベシ

宮山 明夫
廣岡 善一
高谷 善夫
松井 傳次
加藤 富士夫

中村 金吾
尾浦 茂實
三浦 郎
米谷 久四郎
河合 哲正
岡田 正雄



石九六日命一六〇號

石第三五九六部隊日々命令

十一月十九日一六〇號

陸軍少尉

敘正八位

任陸軍准尉

球第一四七三九部隊

(陸軍中尉) (陸軍中尉) (醫務) (兼掌) (スベシ)

陸軍曹長

(昭和十八年十一月二十八日附)

末木長重

宇野美

分尾金藏

北部政雄

中金信一

白石石

林井敏

坂本義

山本慶

吉野三

同同同同同同同同

列青西松安水廣林松
山尾岡藤野場井
子政兼敏冬一未
郎功巳男雄雄治正春

昭和二十年度第二年度下士官候補者ト云高宮城教育
隊ニ分遣ヲ命ズ
依テ十二月十八日十三時迄本部ニ集合シ中村少尉指揮
入ルベシ

第三 第四中隊 陸軍一等兵 鈴木昌吾
右者陸軍經理學校ニ分遣ヲ命ズ
依テ十一月十九日出發一月十日十二時迄ニ東京都北多摩
郡小平村陸軍經理學校ニ到ルベシ



四 左通本部日直並部隊總務科。服務スヘシ

服役月日	本部日直將校	部隊巡察將校
十二月二十日	川邊見習士官	小石原見習士官
同 二十一日	山本少尉	高瀬准尉
同 二十二日	石田中尉	横井准尉
同 二十三日	奈良少尉	千葉准尉
同 二十四日	三輪大尉	齊藤准尉
同 二十五日	香椎中尉	神谷見習士官
同 二十六日	白石少尉	宮田准尉
同 二十七日	淺尾少尉	金山准尉
同 二十八日	坂井少尉	林山少尉

五 第三中隊

陸軍曹長 岩崎圓
 陸軍兵長 堀内長
 陸軍上等兵 虎山治
 陸軍一等兵 戸島敏
 陸軍衛生兵長 米田敏
 右者死没者(知念二等兵)屍衛兵トシテ本十九日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ沖繩陸軍病院ニ出張ヲ命ス

六 機關銃中隊

陸軍伍長 上田正巳
 陸軍上等兵 藤谷長次
 陸軍一等兵 鈴木五夫
 陸軍一等兵 名古莊一
 陸軍兵長 高田繁太郎
 右者死没者(神村渠二等兵)屍衛兵トシテ本十九日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ石第五三五部隊ニ出張ヲ命ス

七 石者明二十日師團ニ於テ實施セララル、暗號掛下士官集合教育被教育者ヲ命ス
 依テ本十九日出發該部ニ到ルベシ

八 第三中隊

陸軍一等兵 山田久吉
 石兵團製杖所要員ヲ命セララル
 依テ明後二日九時出發シ師團經理部ニ到リ、經理部長ノ區着ヲ受クベシ
 服裝、軍裝トシ履合ニ携行トス (石者命テ第六ニ號)

